



「流石のデンソー」と言われ 社会へ貢献したい

Contribute to the Global Community beyond All Expectations.

パワートレイン機器事業グループ グループ長

常務役員 徳田 寛

Hiromi TOKUDA

走る楽しさ、便利さ、快適さを享受できる自動車は、現在の先進国だけの乗り物ではなくBRICs諸国など経済発展とともに、今後も自動車の台数はますます増加していくと考えられる。エンジンと駆動を含むパワートレイン分野において、エネルギー・環境の観点でみると①省燃費、代替燃料などのエネルギー供給問題対応 ②地球環境保全のためのCO₂・排出ガス低減対応が必要で、加えてクルマ本来の便利さ、走る楽しさ、快適さを支える動力性能の更なる改良が今後ますます求められる。デンソーのパワートレエンジニアにはこれらのテーマに対応するため、日夜創造的な活動をしていただいている。

我々を取り巻くビジネスの環境は、DOG YEARの如く、否それ以上に変化が激しい。自動車メーカー間での開発競争、中国、東南アジア、インドでの自動車の急増、特にパワートレイン分野ではハイブリッド車、ガソリン直噴エンジン、ディーゼルコモンレールエンジンの開発進歩など、枚挙にいとまがない。このような環境変化に際し、幸いにもデンソーはお客様、仕入先様等のパートナーにも恵まれ、また先輩方や社員全員の努力により、2005年度末には売上げ3兆円の会社になることができた。同時に、我々の開発した技術が社会や世界で認められ、使ってもらえることは喜びにたえない。

しかしながら、もはや他社をベンチマークして競合に勝つというのだけでは十分でないと思う。つまり、世界No.1か2にふさわしい会社として役目を負うべき時が来たと思う。今後ますます社会や世界に貢献することが求められると思う。

昨年デンソービジョン2015が、我々の進むべき道標として示された。「安全」「環境」「快適」「便利」の分野で「優しさと嬉しさ」を世界の人々に与えられるよう、「流石のデンソー、BEYOND ALL EXPECTATIONS」という評価をいただけるようになりたいと目標設定した。

今回の発刊でデンソーテクニカルレビュー誌は20刊目を迎える。本誌は1996年にデンソー技術会創立40周年を機に発刊され、記念すべき第1刊では、当時社長の石丸さんが巻頭言で「業界をリードする技術誌に」と題して寄稿されておられる。

これらを踏まえ本報では、『環境に貢献するパワートレイン機器製品』というテーマでガソリン、ディーゼル、そしてハイブリッドに関する研究開発について、14件の論文を掲載させていただいた。それぞれが世界の技術をリードしている論文内容になっている。

ディーゼル分野では、コモンレールの出現によって、ディーゼルエンジンの排出ガス低減を含む性能改良が大幅に進化した。しかし、更なるクリーンディーゼルを目指して噴射の改良だけでなく、ディーゼルエンジン制御（D-EMS）に加えて排気後処理による低減も必須技術になってきた。これらの最先端開発状況を掲載した。

ガソリン分野では、燃焼技術や排出ガス処理技術が進化し、排出ガスが吸入新気と同程度のクリーン度になってきた。これを支えるデンソーのインジェクタや点火システムの最新技術を掲載した。更に、ハイブリッドのコンポーネント開発にも言及し、世界で唯一ガソリン、ディーゼル、ハイブリッドの3種類のパワートレイン機器を量産対応しているデンソーの実力を表現した。

この数年、デンソーの技術者諸君も海外出張の機会が多くなったと思う。日系のエアラインに乗るとルートマップでは日本が中心にある。しかし、外国のエアラインマップでは、日本は東の端、つまりFAR EASTに位置する。しかもほんの小さな領土である。それにもかかわらず経済的には一流と称される。いかに1億2000万人の人口があるとはいえ、この地位にいることができるのは明治維新以来の先達が営々と築き上げた賜物である。資源のない日本がこれからの50年、100年、同じように一流と称されるために、我々技術者はより創造的な開発を求め続ける必要がある。

そのためにはどのように対処すべきだろうか？ 例えばコモンレールもガソリン直噴も実は何十年も前に生まれたコンセプトである。当時は十分な技術がないために成果を出すことができなかったが、新しい技術との融合、進化により最近になって磨きがかかってきた。また以前は見えなかったものが見えるようになってきている。可視化や、計測技術の向上である。そしてデンソーには吸気から燃焼、排気までスルーで見られる技術力もある。これらスルーで見る観点からも新しいアイデアが生まれ、新技術開発の可能性があると思う。

『創造的な開発を、そして世界の人々に優しさと嬉しさを！』